



平成31年4月23日

平成31年度第1回定例記者会見

日時：平成31年4月23日（火）11:00～12:00

場所：豊橋技術科学大学事務局3階 大会議室

<記者会見>

- ① 大西プラン2019策定
【学長 大西 隆】（別紙1参照）
- ② 国指定重要無形民俗文化財「豊橋鬼祭」をスマホと最新IT技術で楽しむ
－ 2019年豊橋鬼祭「鬼どこ」実施報告 －
【情報・知能工学系 准教授 大村 廉
/建築・都市システム学系 講師 水谷 晃啓】（別紙2参照）
- ③ 人を育て、未来をひらく 2019年度の社会人向け実践教育プログラム
産業技術科学分野11講座、地域社会基盤分野4講座でスタートします！
【社会連携推進センター 副センター長/教授 水嶋 生智】（別紙3参照）
- ④ 学長主催特別企画 アフリカ縦断 自転車旅報告会開催のお知らせ
【総務課 総務係】（別紙4参照）
- ⑤ 豊橋市役所で研究成果のパネル展示を行います。
【研究支援課 地域連携係】（別紙5参照）
- ⑥ 第9回 EIIRIS インテリジェントセンサ・MEMS 研究会開催のお知らせ
【エレクトロニクス先端融合研究所】（別紙6参照）
- ⑦ 平成31年度定例記者会見の開催日程について（別紙7参照）

<本件連絡先>

総務課広報係 前田・高柳

TEL:0532-44-6506 FAX:0532-44-6509



本学は、主に高等専門学校卒業生及び高等学校卒業生等を入学者として受入れ、技術を支える科学の探究によって新たな技術を開発する学問、技術科学の教育・研究を使命とします。この使命のもと、大学院に重点を置き、実践的、創造的かつ指導的技術者・研究者を育成するとともに、次代を切り拓く技術科学の研究を行い、世界に開かれたトップクラスの工科大を目指します。

5つの挑戦

挑戦 1 多文化共生・グローバルキャンパスの実現 国籍、民族、性別を超えて、皆が学び合う活気あふれるキャンパスを実現します	挑戦 2 技術科学によるイノベーション創出人材育成 技術を修得するとともに、技術を支える科学を探究することにより、イノベーションを創出できる人材を育成します	挑戦 3 融合研究を軸とした研究力強化 オープンアプリケーション方式による応用展開により、融合研究力を強化します	挑戦 4 安全・安心な社会の形成に資する知・技術の創出 世界の人々の生活を豊かにするための新しい知・技術を創出します	挑戦 5 研究者の継続性と流動性の促進 研究者の継続性と流動性を促進することにより、活力ある研究体制を構築します
---	--	--	--	--

2019年度重点実施項目

国連アカデミック・インパクトのメンバーとして、世界の貧困、食糧や水不足、都市問題、環境悪化や地球温暖化等の世界の人々が共通に抱える問題への対処を通じて「持続可能な開発目標 (SDGs)」に取り組みます。

- 【高専連携・教育】** 高専専攻科と本学のカリキュラムを結び付けた「連携教育プログラム」の構築、高専及び各地の企業との共同研究を推進し、高専との連携を一層強化します。
- 【研究】** 企業との共同研究の推進、エレクトロニクス先端融合研究所 (EIIRIS) の強化、並びに研究推進アドミニストレーションセンター (RAC) の拡充を図ります。
- 【国際化・教育】** バイリンガル講義、海外実務訓練、海外大学との連携、海外での研究や実務の経験者の登用、ペナキャンパスの活用等を進め、更なる国際化を目指します。
- 【大学運営】** 女性教員登用を更に進めるとともに、あらゆる差別やハラスメントに反対する意識を高めます。
- 【学生支援】** 弓道部、野球部、ロボコン同好会、吹奏楽団をはじめとして課外活動を更に支援し、学生の積極的な参加を促す取組を進めます。
- 【大学運営・教育・研究】** 国が提示する、「国立大学の経営改革を目指す事業」、「世界水準の博士人材を育成する事業」、「組織」対「組織」による本格的な産学連携事業へチャレンジします。

豊橋技術科学大学は国連アカデミック・インパクトのメンバーです



Sharing a Culture of Intellectual Social Responsibility



2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です

推進する活動

教育の展開

- 長期インターンシップを特徴とし、高専教育と連続して、基礎と専門を積み上げる「らせん型教育」の充実による技術科学力の強化
- 全学にテラーメイド型カリキュラムを導入し、分野横断型の課題に挑戦する学生を育成
- スーパーグローバル創成支援事業による「グローバル技術科学アーキテクト」の養成
- バイリンガル講義、海外実務訓練等のグローバル化教育を推進
- 産学官の参画による博士課程教育リーディングプログラムの実施及び事業期間終了を見据えた支援体制の構築
- 世界水準の博士人材を育成する事業へのチャレンジ
- グローバルリベラルアーツ教育の充実による世界で通用する人間力の強化、起業家マインドを持った人材を育成するアントレプレナーシップ教育の強化
- 本学と高専のカリキュラムの円滑な接続を図るカリキュラム整備

高専との連携

- 連携教育プログラムの構築、高専及び各地の企業との共同研究の推進など、高専との連携を一層強化
- 「高専連携推進センター」において、高専との多彩な交流・連携・協働事業をさらに強化
- 教員の研修、教育課程の改善、高専卒業生の継続教育などの有機的連携
- 三機関連携事業で構築した連携を継承し、引き続きグローバルに活躍し、イノベーションを起こす実践的技術者育成のための取組を展開

世界展開・連携

- グローバル工学教育推進機構において、本学の国際化を促進・強化
- 交流協定締結大学・機関との積極的の交流の推進
- 学生の交流、国際共同研究、重層的なグローバル人材循環の推進
- 外国人卒業生のフォローアップと海外同窓生などのネットワークの強化
- ダブルディグリー、ジョイントディグリー等による留学生の積極的な受入、学生の海外派遣の推進

研究の展開

- 「技術科学イノベーション研究機構」において、先端融合研究創成分野や実践的技術分野の研究を推進
- 先端共同研究ラボラトリーによる世界トップクラスの研究の推進
- エレクトロニクス先端融合研究所 (EIIRIS) の強化による異分野融合研究の推進
- 学内公募の「イノベーション協働研究プロジェクト」による、社会実装・社会提言に繋がる研究の推進
- 研究推進アドミニストレーションセンター (RAC) の拡充による研究力強化
- 研究力強化のための全教員の研究力の底上げ

産学連携

- 研究推進アドミニストレーションセンター (RAC) を介し、企業等と組織対組織を基本とした「機関連携型共同研究」を推進
- 「組織」対「組織」による本格的産学連携事業へのチャレンジ
- 異分野融合イノベーション研究の推進
- 産業競争力強化などに貢献する応用研究の推進
- 産学連携を加速しやすい環境整備のため、リスクマネジメント体制を強化

社会との連携

- 産業界、高専、長岡技科大と協働する、国立大学の経営改革を目指す事業へのチャレンジ
- 「社会連携推進センター」において、地方創生・社会貢献をさらに推進
- 社会人実践教育プログラムの拡充によるリカレント教育を推進し、豊かで持続可能な「地域の未来」創生に貢献

支える環境

組織の運営

- 管理運営体制の合理化による教育研究時間の確保
- 化学や生命工学の社会的重要性を踏まえた課程・専攻の名称変更 (環境・生命工学→応用化学・生命工学)
- 分析・検証に基づく教育研究組織の継続的な見直し、アウトリーチ型大学運営への改革
- 教員の教育研究意欲を高める年俸制度・報奨制度の充実
- 寄附収入の増加に向け、基金の受入・運営体制を強化
- 女性教員の更なる登用など、男女共同参画アクションプランの実践
- 海外での研究や実務の経験者、外国人教員の登用
- 研究力に優れた若手教員が能力を発揮できる人事制度の構築と環境整備
- IRデータを活用した戦略的運営の実施、新しい教員評価システムの実施
- 外部資金や新たな自己収入獲得事業による財務基盤の強化
- 性別や障がいの有無を問わず活躍できる環境、支援制度の充実

教育研究、学生支援環境の整備

- キャンパスの国際化、学生宿舎・国際交流会館の環境改善
- 設備・キャンパスマスタープランに基づいた計画的環境整備の推進
- 学生・教職員の要望を積極的に取り入れた教育環境、福利厚生環境の整備
- 弓道場の整備やロボット用工作機械の新調など、学生の課外活動への積極的な参加を促す取組の推進
- 心と身体の健康を増進する課外活動等の取組を支援し、明るいキャンパスを実現
- あらゆる差別やハラスメントのないキャンパスの実現に向けた取組の推進
- 附属図書館やペナキャンパスを活用し、学内の多文化共生・グローバルキャンパス化を展開

研究不正、研究費不正使用への対応

- 研究活動、研究費使用等に関するガイドラインへの対応
- 教員、学生に対する研究倫理教育の実施、充実

保護者・同窓生との連携

- 卒業生連携室において、同窓会と連携して卒業生との相互支援関係を構築
- 保護者・同窓生の方々々が気軽に立ち寄り、活発な交流の場となるキャンパスの実現



平成31年4月23日

**国指定重要無形民俗文化財「豊橋鬼祭」を
スマホと最新 IT 技術で楽しむ
— 2019 年豊橋鬼祭「おにどこ」実施報告 —**

<概要>

去る2019年2月11日、昨年にひきつづき、豊橋鬼祭において鬼をトラッキングし、観覧者のスマホ上で鬼の現在位置を確認できる「おにどこ」の実証実験を行いました。昨年にくらべてアクセス数の大幅な増加や、「おにどこ」が鬼祭の楽しみを増加させること、鬼祭自体への興味の増進に寄与することなどが判りましたのでご報告いたします。

<詳細>

去る2019年2月11日に「鬼どこ」を実施いたしました。今年はクラウドファンディングにて活動資金(40万円)を募集いたしましたが無事達成することができました。また、今年「おにどこ」アプリはWeb版、スマホアプリ版をそれぞれ用意し、当日2,976人のWebページへのアクセスと1,854件のアプリダウンロードがあり、大変多くの方々にご利用戴きました。アクセスがあった場所についても、昨年同様、豊橋市内だけでなく名古屋や東京、大阪などからも多くのアクセスがあり、また、海外からのアクセスもありました。



「鬼どこ」の利用について、「鬼どこ」画面上から任意にご協力いただく形でアンケートを実施し、374件もの回答を戴きました。男女を問わず、幅広い年代の方々にご回答戴きました。

【アンケートの結果】

・『「おにどこ」は便利』(93%)
のように大変好評だったほか、「おにどこ」を利用した目的として
・「離れた場所で鬼・天狗が動くことを楽しんだ」(118件)
という方も多くいらっしゃいました。また、
・「おにどこ」によって『鬼祭への興味が強まった』(87%)
という結果も得られました。これらの結果より、お祭りを楽しむ人々の遠隔地への拡大とともに、特に、若い方々や近隣15町以外の方々に対する鬼祭りへの興味の増進にも寄与することが判りました。

また、鬼祭参加時間の変化、移動経路や方法の変化に対する回答や自由記述から、おにどこが鬼を追いかける楽しみを増進し、飽きることなく鬼祭を楽しむことに寄与することや、おにどこによって効率的に鬼祭を観覧できるようになる、ということが示唆されました。さらに、

・今年『昨年よりも便利になった』(53%)
という結果や、役に立った機能に関する結果から、今年追加したターゲットモード(鬼や天狗を中心にロックする機能)や実データに基づく会所/神社の通過判定機能はおおむね好評だったことが判りました。

・『来年も「おにどこ」を使用したい』(92%)
という回答からは、今回の取り組みに対する期待が多くあることが判りました。特に、若い人や市外の人からの要望も強いことも判りました。

<今後について>

これらの結果をうけ、今後も機能改善に対する要望や新たなIT技術を取り入れて「おにどこ」の改善を図り、利便性を向上し、さらなる他の地域イベントへの参画を目指します。

本件について、記者会見にて大村准教授より発表します。

本件に関する連絡先

担当：情報・知能工学系 准教授 大村 廉 0532-44-6750 ren@tut.jp
建築・都市システム学系 講師 水谷 晃啓 0532-44-6831 mizutani@ace.tut.ac.jp
広報担当：総務課広報係 前田・高柳 0532-44-6506

2019年「鬼どこ」 実施報告

豊橋技術科学大学

2019年4月23日

大村 廉

水谷 晃啓



クラウドファンディングの募集と 当日実施について

- クラウドファンディングでの募集について
 - <https://readyfor.jp/projects/o2doko2019> より募集
 - 目標額 400,000円
 - 公開日：2019年1月29日（〆切日：2019年2月18日）
 - 達成日：2019年2月07日
 - 達成額：410,000円（支援者数34人）
- 当日実施時間
 - 2019年2月11日 15:00～25:00（10時間）



鬼どこアクセス/ダウンロード数について

- Webページビュー

- ~2/10 6,302PV (昨年：1,913PV)
- 2/11 5,624PV (昨年：6,751PV)
- 合計 11,926V (昨年：8,430PV)

- Webユニークユーザ数

- ~2/10 2,341人 (昨年：586人)
- 2/11 2,976人 (昨年：1,765人)
- 合計 4,748人 (昨年：2,351人)

- アプリダウンロード数(2/11まで)

- iOS版 1,255件
- Android版 599件
- 合計 1,854件

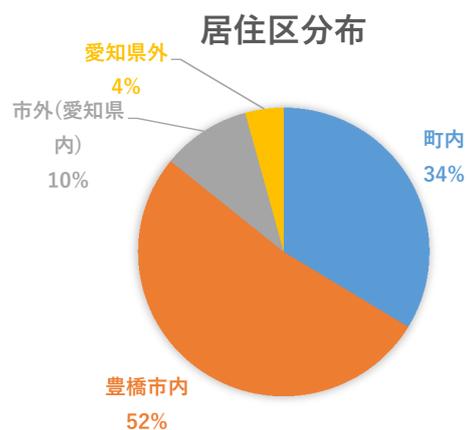
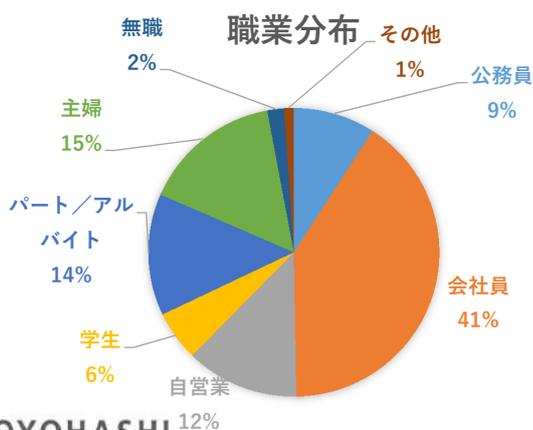
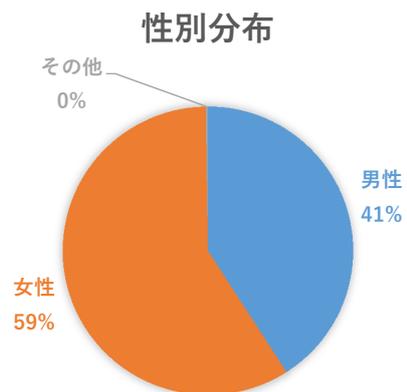
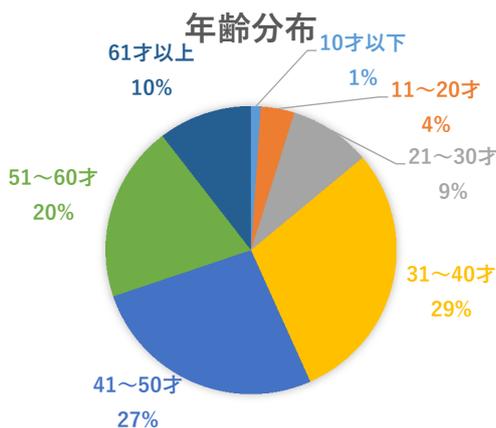
ユニークユーザ数(2/11)+ダウンロード数：4,830 (見込み使用数)

- Webアクセス場所 (2/11日当日)

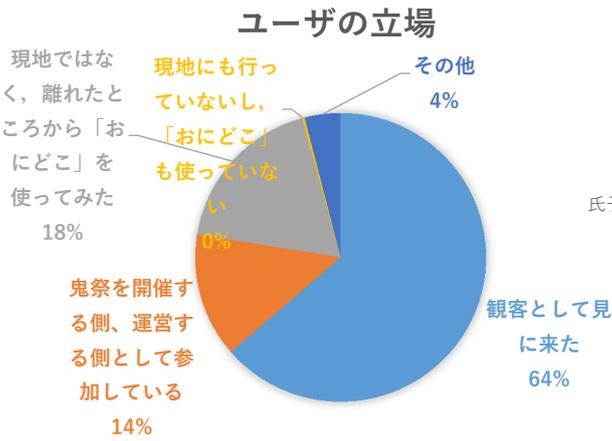
- 日本 2,970人
 - 名古屋 736人, 豊橋 728人, 大阪 654人, 横浜 189人, 新宿 174人
港区 166人, 岡崎 129人, 福岡 76人, 渋谷 47人, 豊川 37人
豊田 32人, 中央区 27人, 浜松 16人, 千代田区 12人, 台東区 12人
一宮 10人, 安城 8人, 京都 8人, 神戸 8人, 札幌 7人
- 国外 6人
 - アメリカ 6人



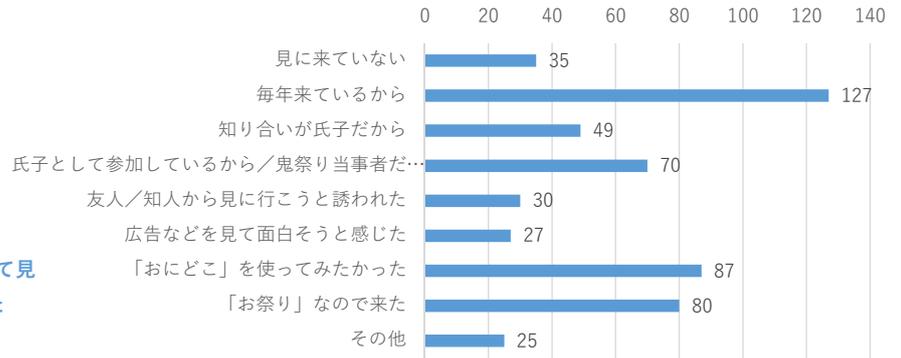
アンケート回答者 (回答数：374件)



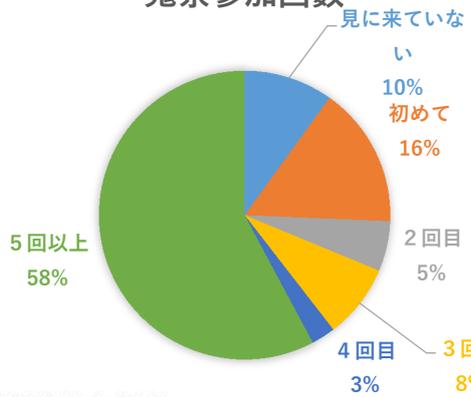
参加理由と参加回数



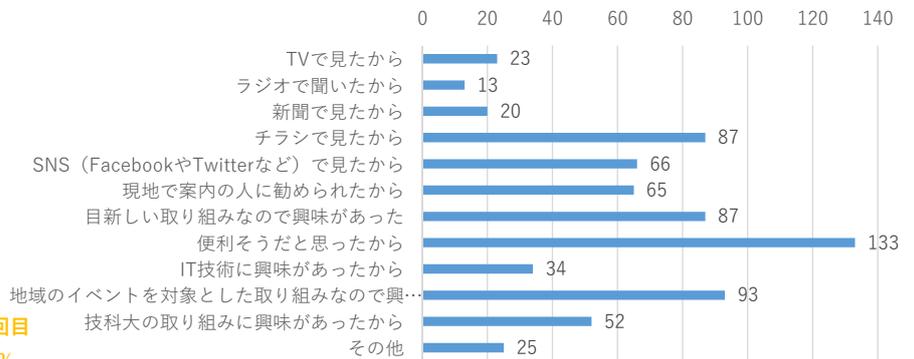
鬼祭参加理由



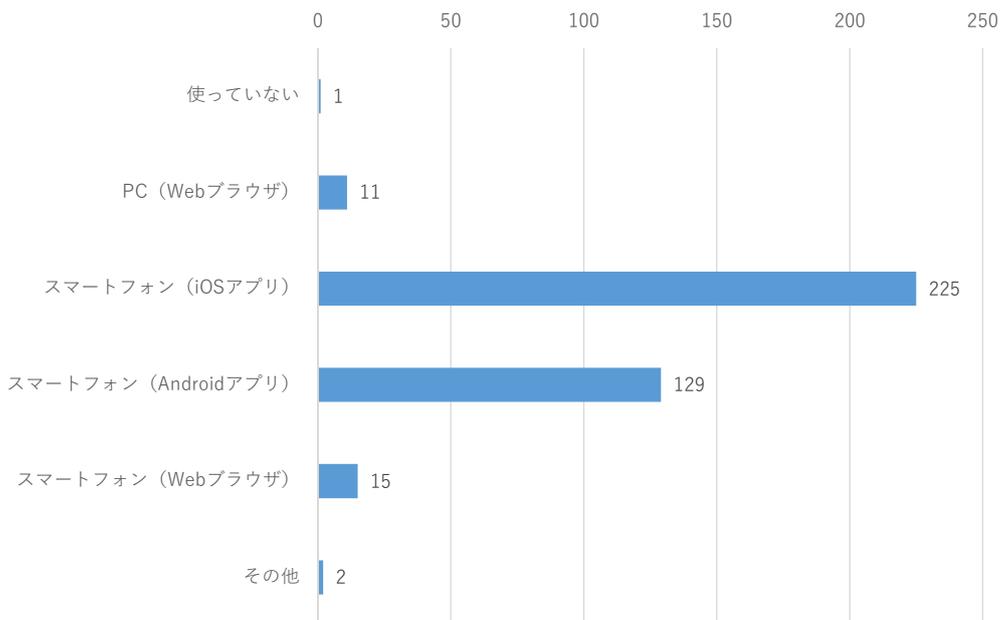
鬼祭参加回数



おにどこ利用理由



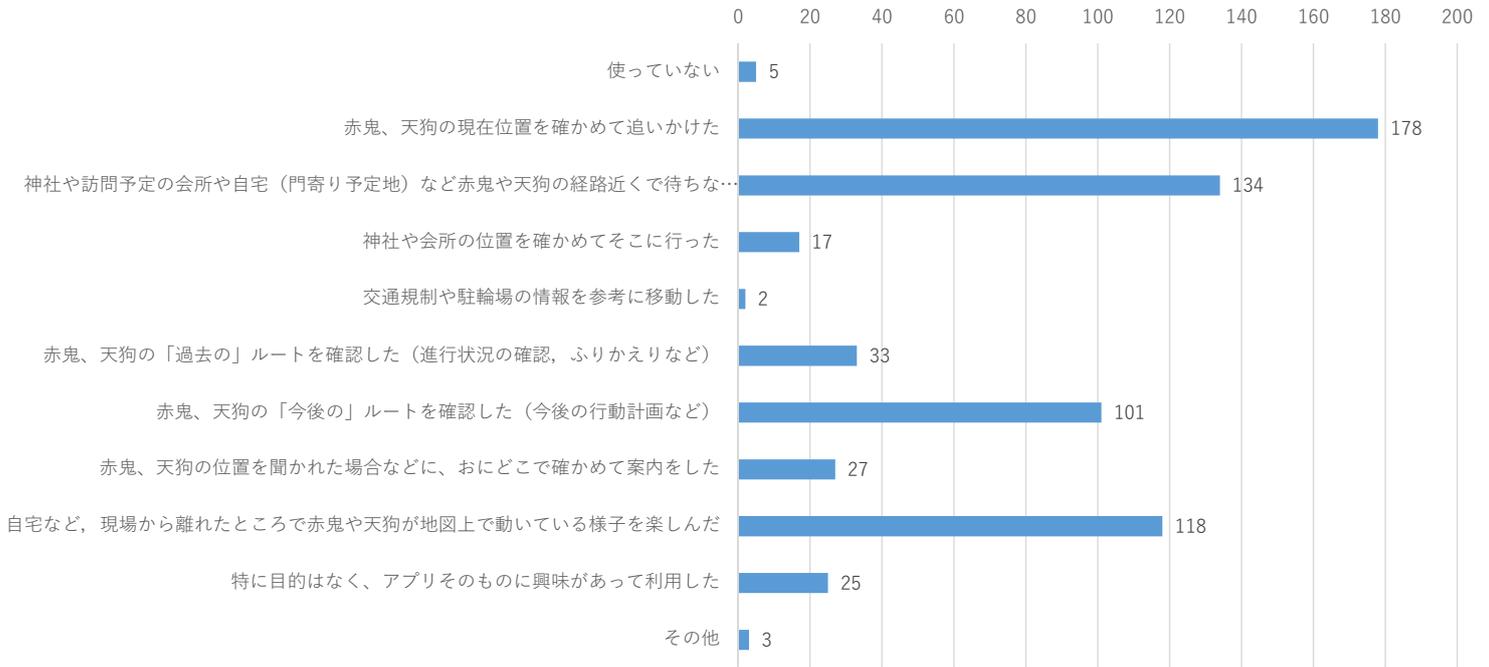
使用したおにどこ



アンケート回答者はスマートフォンユーザが多かった（逆にPCユーザからはあまりアンケートが得られなかった）



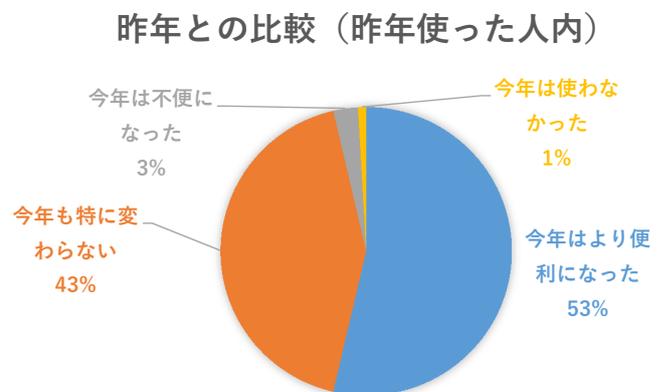
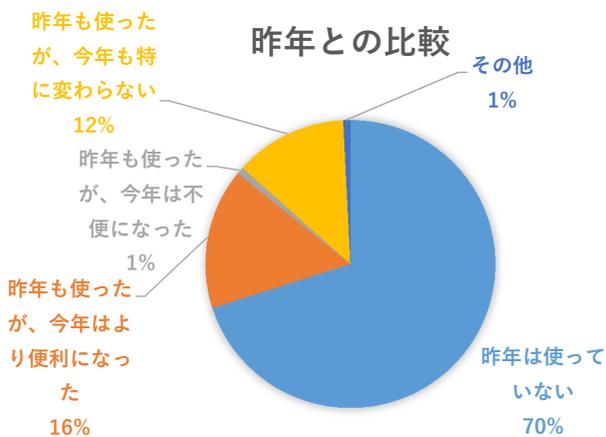
おにどこ利用目的



鬼・天狗を追いかけるため／待つため、（今後の）ルートの確認のために使用する他、離れた場所で様子を楽しむため、という目的での利用が多かった



昨年との比較

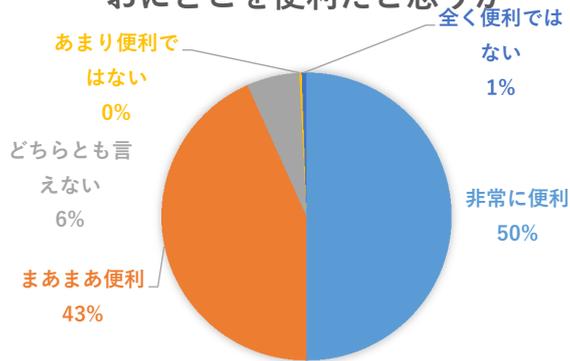


- ・ 今回、新規で使用した方々が多かった
- ・ 昨年も使用した方々のうち、53%が「今年は便利になった」と回答いただいた
- ・ 新規機能（鬼・天狗のロック機能、会所の実際の通過判定など）は概ね好評であった（後述）

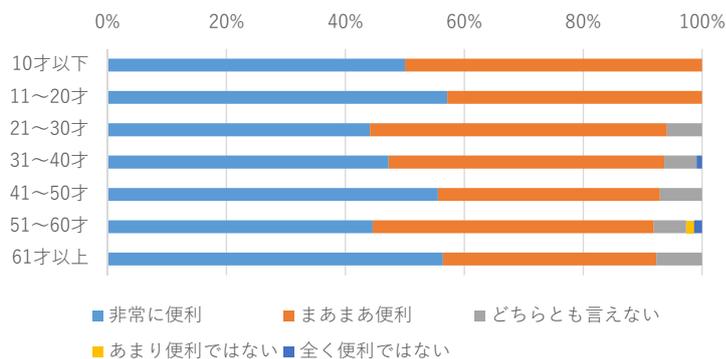


鬼どこを便利と思うか

おにどこを便利だと思うか

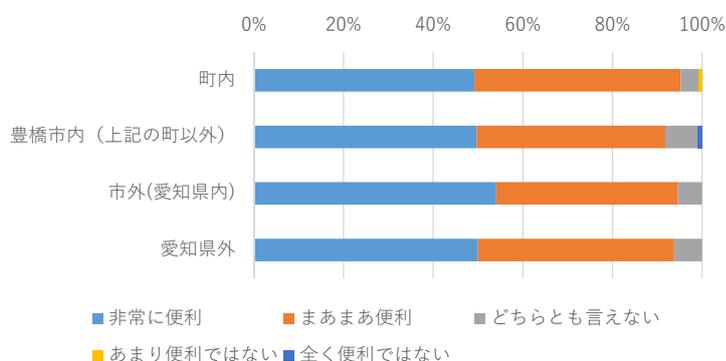


おにどこを便利だと思うか（年代別）



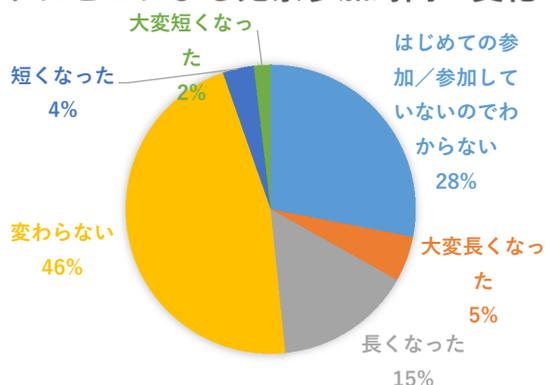
- 93%の方々から「非常に便利」「まあまあ便利」との回答を戴けた
- 弱冠，年配になるにつれ評価が下がる傾向も示唆された
- 「どちらとも言えない」「便利ではない」と答えた人からは
 - 地図を見やすくする
 - 操作をわかりやすくする
 などの意見が多かった

おにどこを便利だと思うか（居住区別）

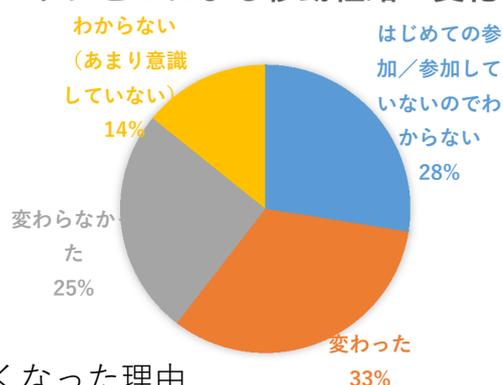


移動経路や参加時間の変化について

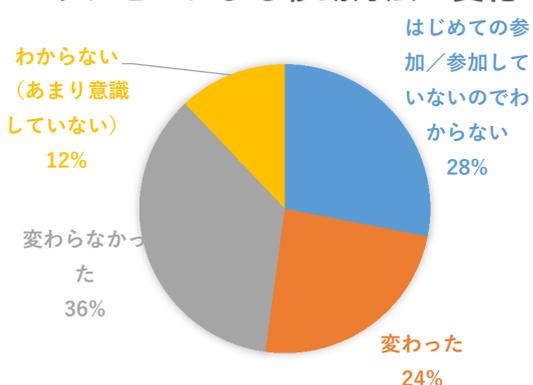
おにどこによる鬼祭参加時間の変化



おにどこによる移動経路の変化



おにどこによる移動方法の変化



- 長くなった理由
 - 鬼・天狗を何度も見にいけた
 - 子連れでも行き先がわかるなら追いかけやすい
 - ピンポイントで待ち受けることが出来た
 - 飽きずに観察することができた
 - 赤鬼と天狗の地図上での動きが面白い

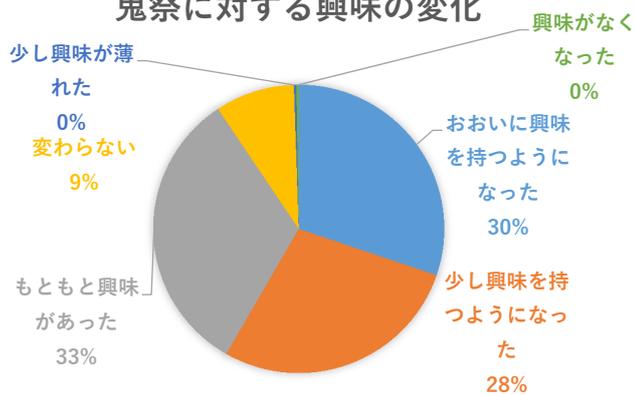
追いかける楽しみが増し、赤鬼天狗を待ち受けできるため飽きることなく祭りを楽しめる
- 短くなった理由
 - 鬼が近くにくるまでは家で待てるようになった
 - 鬼・天狗を探さなくて良くなった
 - 効率的に鬼まつりを観覧できた
 - 別の行事にも参加できるようになった

鬼を待つ場所を決め効率的に観覧できる

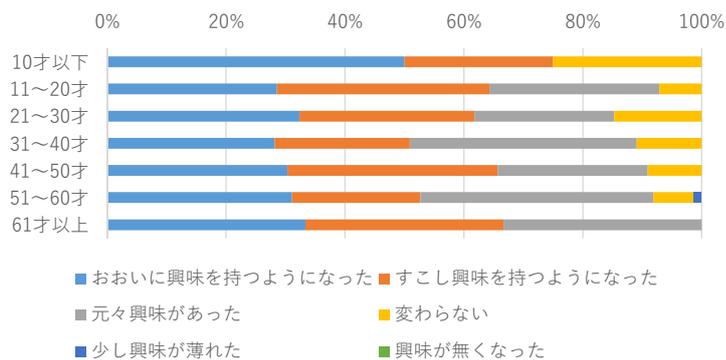


鬼祭への関心の変化

鬼祭に対する興味の変化

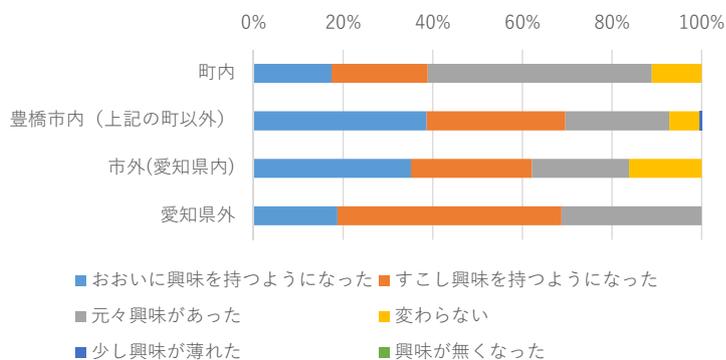


鬼祭に対する興味の変化（年代別）

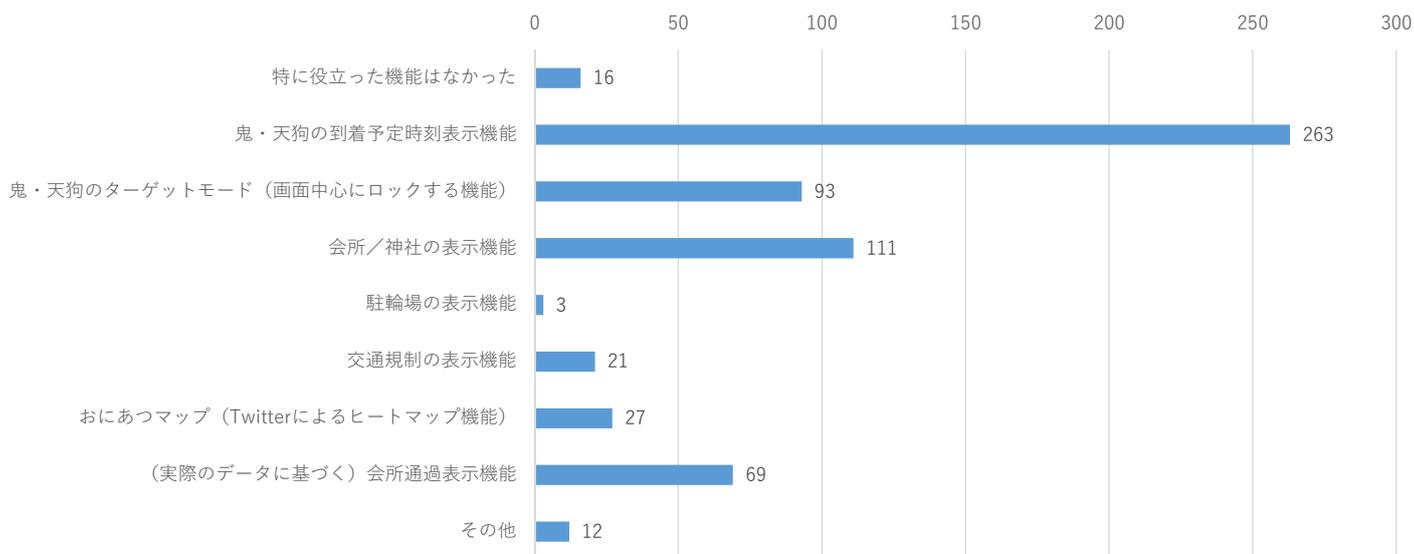


- 58%の方々（もともと興味があった方を除けば87%の方々）から「おおいに興味持つようになった」「少し興味を持つようになった」との回答を戴けた
- 特に、若年層や町内以外の人に対して興味を引き出せることが示唆される

鬼祭に対する興味の変化（居住区別）



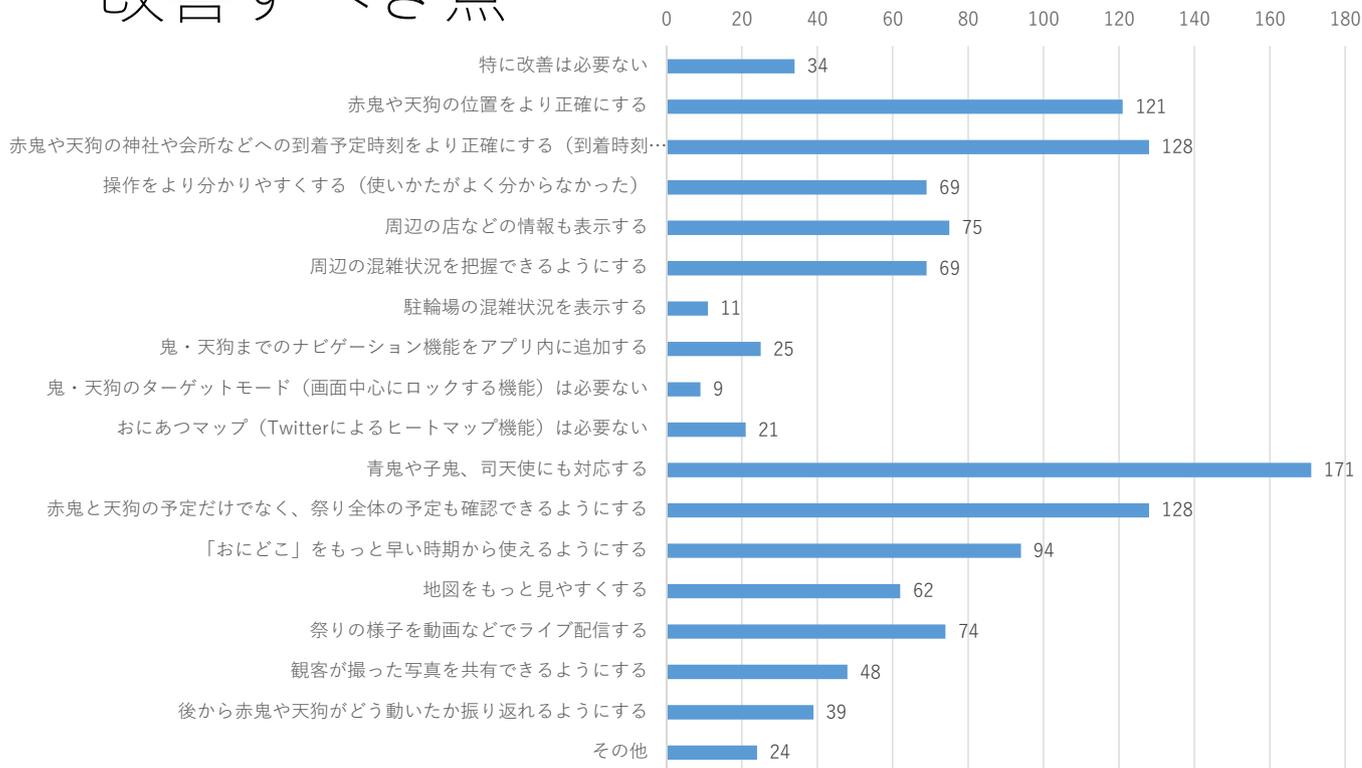
役立った機能



昨年度の機能（鬼・天狗の予定時刻表示機能、会所／神社の表示機能）の他、今年追加した機能（鬼・天狗のロック機能、会所の実際の通過判定機能）は好評であった



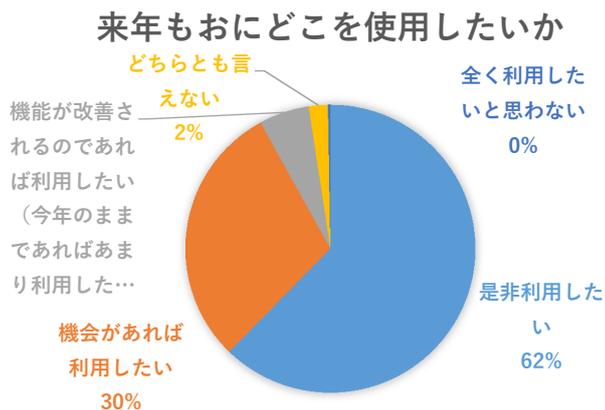
改善すべき点



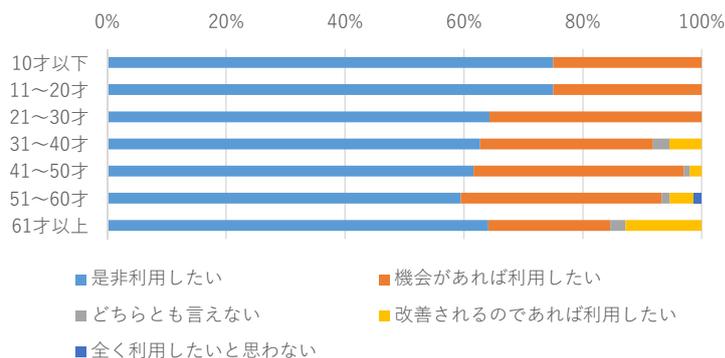
- 青鬼・天狗への対応の他、位置や時間の精度向上に対する要望が多かった。また、祭り全体の情報に関する要望や、周辺の店、混雑状況に対する要望も多かった
- 開始時刻については、操作に対する慣れが必要であったことを示唆しているものと考えられる。その他、開始時刻やライブ配信・写真共有に対する要望も多かった

UNIVERSITY OF TECHNOLOGY

来年のおにどこの使用について

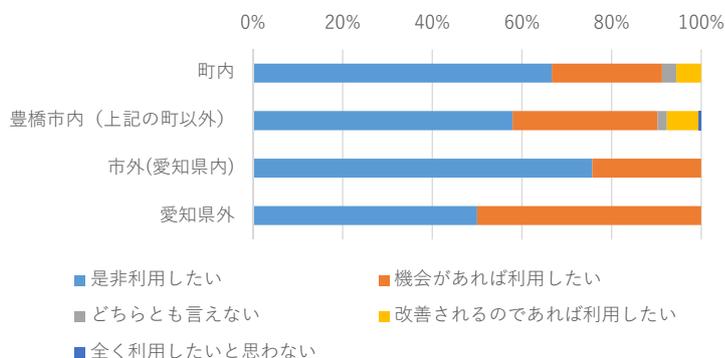


来年もおにどこを使用したいか (年代別)



- 92%の方々から「是非利用したい」「機会があれば利用したい」との回答を戴けた
- 特に、若年層や市外の人からの要望が強い傾向にあった

来年もおにどこを使用したいか (居住区別)



自由記述意見

- 子供が赤鬼に会いたい！粉まみれになりたい！とのことで、このアプリで探して赤鬼を発見！会えた！
- 鬼を先回りして待ち伏せできた
- 駐車場と鬼の居る場所の位置が分かるのでとても便利
- 家にいても参加しているようでおもしろい
- 自宅前に来る時間がわかり、見逃したり、寒さに耐え外で待つことをせずに見れた
- 都合悪くなり現地へ出向かず、鬼の動きを子供と見てたのしめました
- 粉をかけられたく無い人は避けることができる
- 豊橋鬼祭という長い歴史のあるお祭りをITを活用することで、参加者も参加できない方も楽しめるものにするこトでますますファンが増えると思います

- 地図、矢印が見にくかった
- 会所などの到着予定時刻を遅れているならその都度修正出来たらよりわかりやすいです
- 帰宅後もちょくちょく見ていたので、到着後は、帰還済み、などの表記になると良い
- アプリの使い方が不明



まとめ

- 約5,000名（見込み数）の方々に使用して戴くことができた（昨年：1,756名）
 - アンケート回答数：374件
- 鬼・天狗の位置／ルートの確認での使用が多く、役だったとの回答も多かった
 - 追いかける楽しみの増加や、効率的に鬼祭を観覧できるなどの効果もあった
 - 一方で、位置や時間精度向上に関する要望もあった
- 離れた場所で様子を楽しむことを目的とした使用も多かった
 - おにどこにより町内以外の人に対しても鬼祭の興味を引き出せたことが示唆
 - 来年度の実施について、市外の人からの要望も多かった
- 鬼祭への興味の増進に役だつことが示唆された
- 新規追加機能は概ね好評であった
- 93%の人から「来年度も利用したい」との回答を得られた





平成31年4月23日

人を育て、未来をひらく
2019年度の社会人向け実践教育プログラム
産業技術科学分野 11講座、
地域社会基盤分野 4講座でスタートします！

<概要>

社会連携推進センターでは、2016(平成28)年度より高度技術者育成を進める社会人向けの実践教育プログラムについてメニューの刷新を図りました。2019年度は新たに公募をし、新規テーマ1件含めて15講座を開講致します。

<詳細>

●社会人向け実践教育プログラムについて

下記の2つのカテゴリーのプログラムがございます。

- A) 産業技術科学分野 先端ものづくりや起業など産業イノベーション人材の育成
B) 地域社会基盤分野 農業、防災など地域課題解決に資する地域イノベーション人材の育成

●2019年度の実施プログラムについて

2019年度は産業技術科学分野で11件、地域社会基盤分野で4件のプログラムを実施予定です。下記ホームページに会見当日配布のパンフレットの内容を掲載致しました。新規開講プログラムとして、生命科学分野の専門的な実習講座として「哺乳類細胞株による形質導入とバイオイメージング実習」を開講します。今後募集案内(開催日時、受講料)など詳細情報を随時更新して参りますので、ぜひご活用をお願い致します。

- ・社会人向け実践教育プログラム概要

<http://www.sharen.tut.ac.jp/program/>

- ・社会人向け実践教育プログラム一覧

<http://www.sharen.tut.ac.jp/program/list.html>



本件に関する連絡先

担当：研究支援課 社会連携支援室 上田 TEL:0532-81-5188

広報担当：総務課広報係 前田・高柳 TEL:0532-44-6506

社会連携推進センター

University-Community Partnership Promotion Center

社会連携事業

地域の自治体、企業、商工会議所、教育・研究機関等と連携し、小・中学校、高校対象のプログラムや一般公開講座等、地域社会の活性化、教養・文化の向上に貢献



国・自治体との連携・協力

地域諸団体との連携

大学等との連携・協力

市民向け講座

高校生向け実験・実習講座

小・中学生向け実験・体験講座



産学官のコンソーシアム
との連携

**社会人キャリアアップ
連携協議会**

人材育成講座の共有・活用
/ 地域の課題対応の協議

地域のニーズと
大学のシーズの
マッチング



社会人向け実践教育プログラム

(産業人材・地域人材育成事業)

社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムを提供し、地域発のイノベーション創出に貢献できる人材の育成

産業技術科学分野のプログラム

(ものづくり・起業)

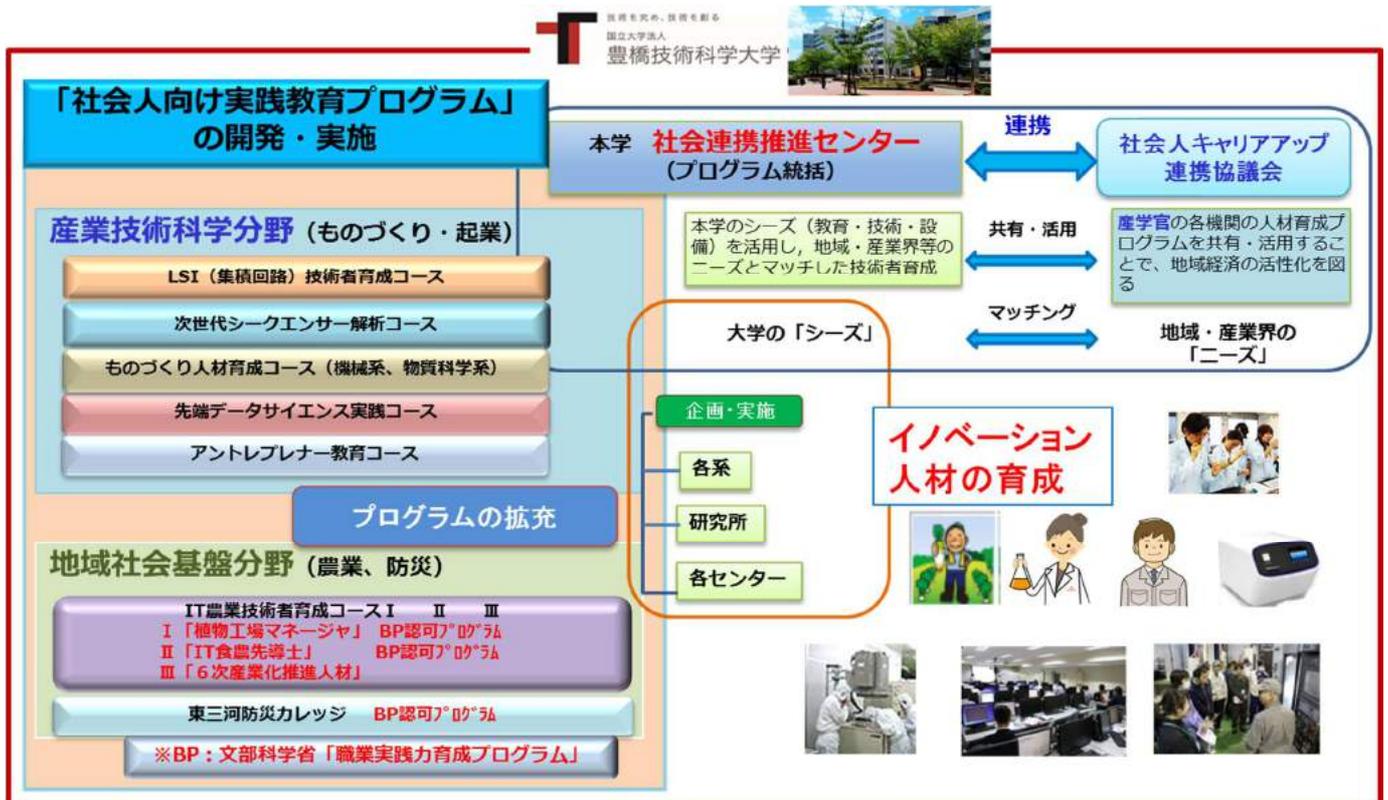


地域社会基盤分野のプログラム

(農業、防災)



社会人向け実践教育プログラム 事業概要



2019年度開講プログラム

プログラムについての問合せ 豊橋技術科学大学 研究支援課 (社会連携支援室)
TEL 0532-81-5188 Email jlrzai@office.tut.ac.jp

産業技術科学分野

<p>集積回路技術講習会 電気・電子情報工学会：澤田教授 若原教授 他</p>	<p>半導体 (LSI) 製造工程を設計・製作から評価まで実習を中心に一貫して学ぶ講習会。 ●期日：7月22日(月)～7月26日(金) (45時間) ●募集人員：10名 学部レベル</p>
<p>半導体プロセス技術の基礎講習とプロセス実演 技術支援室：飛沢技術専門職員</p>	<p>半導体製造現場を体験することを目的としたプロセス技術の実演を交えた講習・実習。 ●期日：随時受付 (4時間) ●募集人員：10名 学部レベル</p>
<p>次世代シークエンサー解析コース 応用化学・生命工学会：広瀬助教 エレクトロニクス先端融合研究所：中津准教授</p>	<p>次世代シークエンサーを用いた微生物群集構造解析実習 ●期日：9月11日～13日 (20時間) ●募集人員：10名 修士レベル</p>
<p>技術者養成研修「機械加工実習講座」 教育研究基盤センター/工作支援部門：小林准教授・技術職員</p>	<p>【初級機械加工講座】機械加工を体験し、業務に生かしたい技術・技能者向け。 ●期日：10月および2月の開催予定 (2日間) (各10時間) ●募集人員：各6名 学部レベル</p>
<p>技術者養成研修「機械加工技術講座」 村上技術経営研究所/所長：村上良彦</p>	<p>ものづくりの基礎から最先端の機械加工技術について知識を深めたい技術者向け。 ●期日：11月開催予定 (5.0時間) ●募集人員：24名 学部レベル</p>
<p>技術者養成研修「組織・構造解析技術講座」 未定、装置メーカーから講師を招聘</p>	<p>先端の分析機器を使った無機・有機材料の組織・構造解析技術についての講義と実習 ●期日：9月開催予定 (3.5時間) ●募集人員：10名 学部レベル</p>
<p>技術者養成研修「コンピュータ支援設計活用講座」 (1) 株式会社システムクリエイトから講師を招聘 (予定) (2) 株式会社システムクリエイトから講師を招聘 (予定)</p>	<p>(1) 2D CADから3D CADを講習 (初級編) (2) 3Dプリンタ/三次元加工機を必要とする3D CADを講習 ●期日：(1) 5月 2日間の予定 (13時間) (2) 9月 2日間の予定 (13時間) ●募集人員：(1) 20名 学部レベル (2) 20名 学部レベル</p>
<p>技術者養成研修「コンピュータ支援解析ものづくり講座」 機械工学会：足立教授 岐阜大学地域連携スマート成型技術研究センター 岡部史枝</p>	<p>設計 (CAD)、解析 (CAE) からマシンニングセンター/3Dプリンタによる製作等 (CAM) を体験 ●期日：2020年1月 3日間の予定 (15.75時間) ●募集人員：10名 学部レベル</p>
<p>哺乳類細胞株による形質導入とバイオイメージング実習 応用化学・生命工学会：沼野准教授</p>	<p>細胞の培養から蛍光イメージング技術まで、基本知識と技術を習得するための講習会。 ●期日：6月～2020年3月の内の連続3日間 (18時間) ●募集人員：3名 学部レベル</p>
<p>先端データサイエンス実践コース 情報・知能工学会：後藤准教授 金澤准教授 渡辺講師 濱田特任講師</p>	<p>データサイエンスの基礎から実践的应用までを学べる人材養成講座 ●期日：10月～2020年1月 (全8日) (45時間) ●募集人員：10名 学部レベル</p>
<p>豊橋技術科学大学ビジネススクール 総合教養院：藤原教授、グローバル工学教育推進センター：高嶋教授 外部講師：東京工業大、起業経験者</p>	<p>起業家になるためのマインドと基礎知識を習得してビジネスプランのプレゼン演習を行う ●期日：A. 事業開始：ビジネスデザイン4月～6月/B. 事業展開：テクノロジースキル6月～8月/C. アントレプレナーシップ基礎10月～11月/D. アントレプレナーシップ応用12月～2020年2月(A. 各120分×6回、C. D. 各90分×8回) (107時間) ●募集人員：10名 学部レベル</p>

チラシ同封の講座

○

○

○ 5月
○ 9月

○

2019年新規

3

国立大学法人 豊橋技術科学大学

地域社会基盤分野

BP	<p>東三河防災カレッジ 安全安心地域共創リサーチセンター：各教員 自治体・企業等の防災実務者</p>	<p>自然災害から「経営 (事業)」、「建物 (施設)」、「生命 (生活)」を守る人材を育成します。 ●期日：I. 短期コース 10月～2020年2月 (各1.5～3時間×16回) II. 長期コース 10月～2021年3月 (124～127時間) ●募集人員：I. 各30名 学部レベル II. 5名 修士レベル II. はBPプログラム</p>
BP	<p>最先端植物工場マネージャー育成プログラム 豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター： 山内特任准教授、熊崎特任助教</p>	<p>最先端施設園芸である植物工場の管理、経営ができるIT農業者を育成し地域の活性化を図る。 ●期日：12月～2021年2月 (495時間) ●募集人員：10名 修士レベル BPプログラム</p>
BP	<p>IT食農先導士養成プログラム (土地利用型IT先端農業コース) 豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター： 山内特任准教授、熊崎特任助教</p>	<p>土地利用型農業において将来地域の担い手となりうるIT農業の人材を育成する。 ●期日：12月～2021年2月 (405時間) ●募集人員：5名 学部レベル BPプログラム</p>
	<p>東海地域6次産業化推進人材育成プログラム 豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター： 山内特任准教授</p>	<p>農業者等が新規参入を検討している企業関連ビジネスなどを設計し意思決定ができる。 ●期日：9月～12月 (98時間) 教室講義30教科、e-ラーニング24教科、先進事例視察12ヶ所を実施予定。 ●募集人員：15名 学部レベル</p>

※プログラムの項目、内容は予告なく変更される場合があります。受付情報など最新の情報は下記webサイトでご確認ください。
社会人向け実践教育プログラム一覧 <http://www.sharen.tut.ac.jp/program/list.html>
※BP:文部科学省「職業実践力育成プログラム」

BP:文部科学省 職業実践力育成プログラム

4

国立大学法人 豊橋技術科学大学



平成31年4月23日

学長主催特別企画
アフリカ縦断 自転車旅報告会開催のお知らせ

<概要>

豊橋技術科学大学 機械工学課程4年の溝口哲也さんは、日本国内の他、ヨーロッパ、アジアなど20ヵ国以上を自転車で旅してきました。今回、2018年10月から5ヵ月かけて、アフリカ大陸12,000キロを走り抜いた体験を中心に報告します。この報告を通して、世界に興味を持ってくれる人が増えてもらえればと思います。

<報告会詳細>

日時：平成31(2019)年4月25日(木) 14:40~16:10

場所：本学講義棟 A2-101

一般の方の聴講も自由となっておりますので、関心のある方はぜひお越しください。



本件に関する連絡先

担当：総務課総務係 菅谷 TEL:0532-44-6504

広報担当：総務課広報係 前田・高柳 TEL:0532-44-6506



技術を究め、技術を創る

国立大学法人

豊橋技術科学大学

特別企画

世界自転車旅報告会



報告者 豊橋技術科学大学
機械工学系 4年次
トライアスロン部所属

溝口 哲也 氏

本学機械工学課程4年・トライアスロン部所属の溝口哲也氏は、これまで夏休みなどを利用し、日本国内の他、ヨーロッパ、アジアなど20ヶ国以上を自転車で旅してきました。2018年10月からは、就職活動を控えた「学生時代最後の挑戦」として、大学を休学し、スポンサーを獲得し、講演活動などで軍資金を貯め、5ヶ月かけてアフリカ大陸12,000kmを走り抜きました。出発早々強盗に遭い、現金を奪われる等困難も数々でした。そのような中、決して経済的に豊かとは言えない暮らしぶりの現地の人々から、食事の提供、自宅に泊めてくれる等多くの優しさをもらい、孤独に立ち向かう勇気をもらえました。

「私の自転車旅を通じて少しでも世界のことを知って、興味を持ってほしい」

「日本はグローバル化により、ますます海外との関係が密になります。海外生活はそれを身近に体験できる貴重な機会だと思うので、何事も恐れずに外の世界を体験してほしい」

「集大成の旅を終え、経験をこれから挑戦する人に伝えたい」

多文化共生・グローバルキャンパスを目指す本学学生・教職員、グローバル化の進む企業・地域の皆様に、溝口氏の貴重な体験談を是非聞いていただきたく、報告会を開催することとしました。堅苦しくない、ユーモアを多分に含んだ報告会とすることを予定しています。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

日時：2019年4月25日（木） 14：40～16：10
場所：豊橋技術科学大学 講義棟 A2-101

聴講自由

(本件問い合わせ先)
豊橋技術科学大学 総務課総務係
電話 0532-44-6504
E-mail somsom@office.tut.ac.jp



平成31年4月23日

豊橋市役所で研究成果のパネル展示を行います。

<概要>

平成30年度豊橋市大学連携調査研究費補助金を活用した研究の成果報告を行います。

○日程：平成31年4月22（月）10:00 ～ 26日（金）16:00

○場所：豊橋市役所 東館1階市民ギャラリー

○研究内容

「豊橋未来ビークルシティ電化道路電気バスシステム」

電気・電子情報工学系教授、未来ビークルシティリサーチセンター長 大平 孝

「ドローンによる作物の生育状況等のモニタリングに関する研究」※デモ有

情報・知能工学系 准教授 金澤 靖

※期間中にパネル展示、デモンストレーションを実施します。



昨年の展示・デモの様子→

4/22（月）	4/23（火）	4/24（水）	4/25（木）	4/26（金）
パネル展示 10:00～16:00				
			デモ 13:00～16:00	

本件に関する連絡先

担当：研究支援課地域連携係 福村 TEL:0532-81-5196

広報担当：総務課広報係 前田・高柳 TEL:0532-44-6506

第9回 EIIRIS インテリジェントセンサ・MEMS 研究会

主催： 国立大学法人豊橋技術科学大学
エレクトロニクス先端融合研究所 革新センシング技術創成分野
共催： 国立大学法人豊橋技術科学大学
産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム(OPERA)、AIST-TUT先端センサ共同ラボ
一般社団法人豊橋センサ協議会
後援： 豊橋商工会議所、株式会社サイエンス・クリエイト

豊橋技術科学大学では、エレクトロニクス先端融合研究所(EIIRIS)において、インテリジェント(集積化)センサ・MEMSデバイスの研究開発を進めています。豊橋技術科学大学におけるセンサ・MEMS技術は21世紀COE、グローバルCOEプロジェクトに採択されるなど世界的にも高く評価されています。

第9回研究会では、学外からも講師をお招きしてマイクロ・ナノ材料、プロセス技術及びロボットによる環境センシングの応用例をご紹介します。

聴講自由、無料、参加定員 先着100名

■開催日：2019年5月16日(木)午後2時45分～午後4時50分(開場 午後2時15分)

■開催場所：豊橋技術科学大学 講義棟 A2-101 〒441-8580 豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1

■プログラム(敬称略)

- ・招待講演 (午後2時45分～午後3時40分)
名古屋大学 マイクロ・ナノ機械理工学専攻 教授 秦 誠一
「IoT時代のマイクロ・ナノプロセス・材料技術」
- ・技術講演 (午後3時50分～午後4時50分)
豊橋技術科学大学 情報・知能工学系 教授 三浦 純
「ロボットによる環境センシング(仮題)」

■招待講演者を囲んで

- ・技術討論会 午後6時00分～(5,000円程度)

■お問い合わせ・お申込み先

国立大学法人豊橋技術科学大学 研究推進アドミニストレーションセンター

TEL: 0532-44-6975 (馬場、勝川) FAX: 0532-44-6980

E-mail: eiiris_workshop@rac.tut.ac.jp

お申込みは下記のホームページをご参照ください。

<http://www.eiiris.tut.ac.jp/japanese/>

豊橋技術科学大学キャンパスマップ

<https://www.tut.ac.jp/about/campusmap.html>

■事務局

機械工学系・永井萌土、エレクトロニクス先端融合研究所・野田俊彦

平成31年（2019年）度 定例記者会見日程予定

第1回	4月23日（火）	11：00～
第2回	5月28日（火）	11：00～
第3回	6月25日（火）	11：00～
第4回	7月23日（火）	11：00～
第5回	9月17日（火）	11：00～
第6回	10月15日（火）	11：00～
第7回	11月19日（火）	11：00～
第8回	12月17日（火）	11：00～
第9回	1月21日（火）	11：00～
第10回	2月18日（火）	11：00～

- 場所はすべて本学大会議室（事務局3階）を予定しています。
- 場所、日程は現時点での予定であり、都合により変更の場合があります。
- 定例以外に臨時で記者会見を行う場合があります。

以上